

北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会

第1回 会議 議事録（要旨）

平成24年4月26日（木）

午前9時から午前10時40分まで

市役所西庁舎分館3階大会議室

I. 委員等の出欠

区分	氏名	出欠	
委員	学識経験を有する者	萩原 周	○
		村山 顕人	○
	関係団体の代表者	田中 喜作	○※1
		粕谷 紀光	○
		森 政信	○
		梶川 康夫	○
		加藤 武治	○
		山田 彦逸	○
		高柳 慎	○
		魚住 實	○
		加藤 茂夫	○
		辻 一敏	○
		小野 芳照	○
		大野 茂	○※2
		中山 金一	○
		市議会議員	牧野 孝治
	堀場 弘之		○
	長瀬 悟康		○
	行政関係職員	鈴木 秀育	○※1
		高野 昌彦	○※1
森 令治		○	
日置 英治		○	
オブザーバー	行政関係職員	福田 光祐	○

※1：本人欠席（代理者が出席）

※2：途中退席

区 分		氏 名
事務局	北名古屋市都市整備課	井上 昭人
		真田 和佳
		丹羽 信之
		佐野川 貴弘
	愛知県都市整備協会	川上 晃一郎
		天谷 重治
	中央コンサルタンツ(株)	増田 典生
		黒田 清吾

II. 議題等

- 1 委員委嘱
- 2 市長あいさつ
- 3 委員の自己紹介
- 4 まちづくり構想の策定の背景
- 5 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会設置要綱
- 6 委員長、副委員長の選出
- 7 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会の予定
- 8 議 題
 - ・現況調査
- 9 報 告
 - ・鉄道周辺まちづくりアンケート調査
- 10 その他

III. 議事要旨

1 委員委嘱

<策定委員の委嘱>

2 市長あいさつ

○本市は、2町が合併して7年が経過し、市としての礎ができあがってきており、

現在、「健康快適都市」の実現を目標にまちづくりを進めている。

○その一方で、名鉄犬山線が市域を分断しており、市民の交流を妨げている。この鉄道のあり方を考えて、解決策を公表していく必要がある。

○まちづくり構想の策定においては、きたんのない意見をいただき、市民の皆様にも理解と支援が得られるような構想が策定できるよう、委員の皆様のお力添えをお願いしたい。

3 委員の自己紹介

<委員の自己紹介>

4 まちづくり構想の策定の背景

事務局： <まちづくり構想の策定の背景（資料1）の説明>

○2町の合併により、鉄道がまちの分断要素となった。

○上位計画において「鉄道と道路の立体交差化を促進」と位置づけ。

○まちの現状や上位計画に基づいて鉄道高架化を検討し、この検討のなかでまちづくり構想を策定する。

委員： 特に意見なし

5 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会設置要綱

事務局： <北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会設置要綱（資料2）の説明>

○多角的・総合的な視点からまちの基本構想を策定するために設置。

○学識経験者、関係団体の代表者、市議会議員、行政関係職員等の30人以内の委員により組織。

委員： 第3条に「委員会は、30人以内の委員をもって組織する」とありますが、現在の委員は23人です。必要に応じて、後から委嘱することはありますか。

事務局： 必要に応じて、新たに委員を委嘱することはあります。

6 委員長、副委員長の選出

事務局： 委員会の委員長、副委員長の選出につきましては、設置要綱第6条第1項の規定により、委員の互選により定めることとしています。ご意見がありましたら、お願いします。

委員： 委員長、副委員長には、まちづくりに精通し、専門的な知識を持つ萩原委員、村山委員を推薦します。

萩原委員におかれましては、市内に立地する名古屋芸術大学の准教授であり、まちの状況を熟知しているとともに、過去には徳重・名古屋芸大駅周辺まちづくり委員会の委員長として、まちづくり構想をまとめられた経験をお持ちです。

また、村山委員におかれましては、国内外の都市計画やまちづくりに精通しているとお聞きしています。全国に誇れるまちづくりを北名古屋市で行うために、村山委員の知識や経験をお借りしたいと思います。

事務局： 委員長は萩原委員、副委員長は村山委員を推薦するという発言がありました。いかがでしょうか。

委員： 異議なし

事務局： 異議なしということですので、萩原委員に委員長を、村山委員に副委員長をお願いしたいと思います。

委員長、副委員長にご就任いただきました、萩原委員、村山委員にあいさつをいただきたいと思います。よろしくお願いします。

委員長： 鉄道周辺のまちづくりは、息の長い重要な事業になると思いますので、できる限り丁寧に議論していきたいと思います。よろしくお願いします。

副委員長： 建設的な議論が進むよう、委員長を補佐していきたいと思います。よろしくお願いします。

事務局： これ以降の議事の進行につきましては、委員長をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

7 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会の予定

委員長： 北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会の予定について、事務局より説明をお願いします。

事務局： <北名古屋市鉄道周辺まちづくり構想策定委員会の予定（資料3）の説明>

○5回の委員会の開催によりまちづくり構想をまとめたい。

○市民の声を構想づくりへ活かすために、アンケートや2回のパブリックコメントを実施する。

委員長： 事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問がある方は、発言をお願いします。

委員： 特に意見なし

8 議題

・現況調査

委員長： 議題の現況調査について、事務局より説明をお願いします。

- 事務局： <現況調査（資料4）の説明>
- 本市では、昭和の後半から急激に都市化が発展してきた。
 - それに合わせて、旧師勝町、旧西春町は独自のまちづくりを行ってきた。
 - しかし、北名古屋市となった今では、市の中央部を走る鉄道が東西のまちの分断要素になってしまった。
 - その結果、特に旧町境である鉄道周辺地域では、土地建物利用、道路交通など様々なまちの問題が生じている。
- 委員長： ご意見、ご質問がありましたら、発言をお願いします。

■都市計画マスタープランの位置づけについて

- 委員： 道路と鉄道との立体交差化について、P.2 都市計画マスタープランにおける推進区域と検討区域の位置づけはどちらが上位になりますか。
- 事務局： 2頁の都市計画マスタープランの位置づけをご覧ください。徳重・名古屋芸大駅周辺では、道路と鉄道との立体交差化を推進することとしており、西春駅周辺では、検討するとしています。
- 徳重・名古屋芸大駅周辺では駅へのアクセス道路や駅前広場などの基盤整備が遅れており、立体交差化を含めたまちづくりの優先度が高いと考えています。
- 委員長： この他に、ご意見、ご質問がありましたら、発言をお願いします。
- 委員長： 他にご意見がないようですので、現況調査については、原案で検討を進めていくこととしますが、よろしいでしょうか。
- 委員： 異議なし

9 報告

・鉄道周辺まちづくりアンケート調査

- 委員長： 鉄道周辺まちづくりアンケート調査について、事務局より説明をお願いします。
- 事務局： <鉄道周辺まちづくりアンケート調査（資料5）の説明>
- 名鉄犬山線周辺にお住まいの1,000名を対象にアンケートを実施
 - 4月12日に郵送で配布し、4月27日までに郵送で回収
 - 個人属性、日常の移動、まちの現状や問題点、まちづくりの方向性について質問
- 委員長： ご意見、ご質問がありましたら、発言をお願いします。

委員： 特に意見なし

委員長： 以上で、本日の議題はすべて終了しました。ご協力ありがとうございました。

10 その他

委員長： 最後に、その他について、事務局より何かあれば説明をお願いします。

事務局： 第2回目となる次回の委員会は、6月25日（月）の午前10時からの開催を予定しています。

委員長： これで、本日の委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

以上

(参考) 委員会の様子

